

みどりの丘

文責 二本松市立新殿小学校長 高松宏光



地域に出かけての学び・学校に招いての学び

少人数の本校で、子どもたちのコミュニケーション力を高めるためには、地域の方々を含め、たくさんの人と触れ合うことが重要であると考えています。

3日(火)「道の駅 さくらの郷」に、5・6年生がお邪魔してきました。事前に話し合った質問したい内容を、駅長さんや店員さん、お客さんにインタビューする活動をしました。その中でも、お客さんへの質問はハードルが高く、そわそわ、モジモジしていた子どもたち…。勇気を出して声をかけるもの、はじめは中々受けてもらえませんでした。しかし、一度上手くいくと、徐々に自信をもって声をかけることができるようになり、最後には堂々と声をかける姿まで見られるようになりました。当日、偶然居合わせた市長に質問するグループもありました。短時間の中で、子どもたちの成長を実感することができ、本当に嬉しく思いました。

この日はピザ作り体験も行い、駅長さんに焼いていただいた出来たてを味わってきました。18日(水)には、1～4年生もお邪魔してくる予定です。どんな一日になるか、とても楽しみです。

(様子はホームページにアップします)



出かけるばかりでなく、学校にお招きしての学びの機会も重要です。

9月26日(火)には、中学年のクラスに給食センターの栄養士さんをお招きし、バランスの良い食事の大切さについて学びました。子どもたちの真剣な表情が、素晴らしいですね!

10月11日(水)には、音楽ゲストティーチャーをお招きして、高学年の指導をしていただきました。箏(そう)や三味線に直接触れて演奏する、貴重な体験でした。

専門の方からのお話は、子どもたちにとっても新鮮で、深い学びの場となっています。積極的にこうした機会を増やしていきたいと思えます。



指導力向上のために

8日(金)市教育委員会の指導主事が来校し、さくら学級の授業を参観、その後ご指導をしていただきました。



11日(水)には低学年の校内研究授業が行われ、放課後に成果と課題の話し合いがされました。指導力向上に向け、日々努力しています。

また、9月より理科のサポートティーチャーとして、小池さんが新殿小のメンバーに加わりました。実験の準備や安全確保など、様々な形で助けていただいています。学校にとって大きな戦力です！

就学時健康診断

10月5日(木)来年度入学予定の3名の園児が、健康診断で来校しました。

こども園の子どもたちは、普段から校長室前のビオトープを訪れるなどしています。こども園と併設し、日常的に交流ができる環境は本校の強みであり、スムーズな入学に繋がっています。



それにしても、就学時健康診断で訪れた子どもたちは、小さくて可愛い姿です。6年後には学校のリーダーとして堂々とした姿を見せてくれると思うと、子どもの成長は実に早いものです。お子さんの小さいときの写真などを取り出し、ご家族で成長の軌跡を振り返ってみてください。ご家族みんなが、温かい気持ちになることでしょう。

「自己マネジメント能力」を高めましょう

子どもたちに「自己マネジメント能力」をつけさせることが大切であると教育現場でいわれ、たくさんの教育関係の書籍に書かれています。「自己マネジメント能力」とは、平たくいうと、自分で自分の課題を見つけ、目標を立てて取り組んでいく、主体的な力のことです。こうした力は、ビジネス書にもよく書かれている内容で、つまりはこれから社会に出ていく子どもたちに求められている力ということです。

ステップ1:「現状を見つめる(現状把握)」

ステップ2:「課題をつかむ(課題発見)」

ステップ3:「目指す目標を立てる(目標設定)」

ステップ4:「自らそこに向かって取り組んでいく(実践)」



学校では、先日の岩代ロードレース大会のような「運動」に加え、「学習」や「食育」「身長・体重のバランス」など、様々な場面で今(現状)の自分を見つめ、目標を立て、振り返りをする取組をしています。

AIなどの発達により、今ある多くの職業なくなる、あるいは別の形になると言われ、社会の未来像が見通せない時代が到来しています。以前お伝えした【非認知能力】に加え、自分で自分を育てていく力の育成が求められているのです。